



垣内 武司 議員
(灘会)

代表質問

■原油・物価高騰対策について

現状をどのように捉え、どのような対策を考えているか？

質

原油・物価の高騰が続き、食料、エネルギー価格も大幅に上昇するなど、困窮世帯のみならず広く市民の日常生活にも影響が出ている。

また、市内の事業者でも多大な影響が出ており、経済活動の障害となっており。今後、経済活動の縮小または廃業ということに繋がりがかねない。市長は現状をどのように捉え、どのような対策を検討しているのか考えを伺う。

答

原油・物価高騰が市民生活や市内経済に与える影響は依然として大きく、この冬はほとんどの家庭や企業で、燃料費の負担が増加しており、急激な物価上昇には十分注意する必要があると認識している。

令和5年度の当初予算ではキャッシュレス決済ポイント還元事業の第5弾など、様々な支援策に取り組むことにより、物価高騰による生活支援や市内経済の消費喚起を促していく考えである。国や県の支援策と併せて、市の支援策を活用していただければと考えている。



代表質問

■子ども支援について

食育等の観点からの「子ども食堂」の必要性を！

質

公約に掲げていた学校給食費の無料化について、財源確保に努め、今日まで段階的にその形を整えてきた。次年度の当初予算では、第3子以降にも拡充し、その形が整ったこととなった。この学校給食費完全無償化について、市長の所見を伺う。

また、昨今では、保護者の方々の生活の多様化、仕事等により家族との共食が難しくなっている。食育等の観点から、家族そろって食事を取ることが難しい子供たちに、共食の機会を提供するための「子ども食堂」の支援が必要と思うが、考えを伺う。

答

市長就任に当たった公約である学校給食費の無償化については、令和4年度から大幅に拡充し、市内に住所を有する保護者、全ての児童生徒の給食費の無償化を行う。この地域の豊かさというものの一つには、食がある。生きていくために少なくとも食には困らない、そういう地域を願った上で、この給食費の無償化の実現は第一歩と考えている。

子供の食育については、健やかな子供の発達を促す上で重要であると考えている。2月会議の補正予算において、地域での食育の取組、共食の場の提供を行う子ども食堂2団体への運営費を計上している。引き続き子供の孤食や食育、子ども食堂に対して支援をしていきたいと考えている。



永崎 陽 議員
(新政会)

